

# 岡山市文化財目録

令和6年度版

岡山市教育委員会

## 目次

1 国指定文化財	1
2 県指定文化財	10
3 市指定文化財	21
4 登録文化財ほか	34
付録 岡山市指定文化財一覧	43

※種別ごとに指定日の古いものから並べている。

※国宝指定等変更があった場合であっても、最初の指定年月日を記載。

※自治体所有のものについては、保管・管理機関を記載。



絵画	絹本墨画廬山図〈玉潤筆/自賛がある〉 (けんぼんぼくがろんざんず) 北区天神町	昭和27年 3月29日 (1952)	岡山県立 美術館	中国の宋末期から元初期の画僧・玉潤の作。江西省の廬山を描き自賛を付ける。江戸時代に元画を切断。
絵画	紙本墨画山水図〈雪舟筆/倣玉潤〉 (しほんぼくがさんすいず) 北区天神町	昭和31年 6月28日 (1956)	岡山県立 美術館	雪舟が宋の画僧・玉潤の作を範に描いた山水図。正方形の紙面にうちわ形を描き、中に山水を表現した作品。
絵画	絹本著色清明上河図〈趙浙筆/萬曆五年十月の年記がある〉 (けんぼんちゃくしよくせいめいじょうかず) 北区丸の内二丁目	昭和38年 7月1日 (1963)	林原美術館	北宋末の画家・張沢端の作品を明の趙浙が模写したもの。萬曆5(1577)年の記銘がある。春の到来を祝う清明節の様子を描く。
絵画	紙本著色花鳥図〈長谷川信春筆/六曲屏風〉 (しほんちゃくしよくかちょうず) 北区御津町金川	昭和43年 4月25日 (1968)	妙覚寺	信春(しんしゅん)は長谷川等伯の初期の号。等伯の画風に近づいており、信春と名乗った時期でも後期の作とされる。長谷川派花鳥画のうちで屈指の優作。
絵画	紙本金地著色洛中洛外図〈/六曲屏風〉 (しほんこんぢちゃくしよくらくちゅうらくがいず) 北区丸の内二丁目	平成8年 6月27日 (1996)	林原美術館	池田藩に伝来の屏風一雙。二条城の天守がそびえる洛中洛外図形式の代表的作品。元和期(1615～1624)の狩野派の絵師の作と伝わる。
絵画	絹本著色宇喜多能家像 (けんぼんちゃくしよくうきたよしいえぞう) 北区天神町	平成9年 6月30日 (1997)	岡山県立 美術館	宇喜多能家は備前国邑久郷を本拠とする室町時代の武将で、直家の祖父。長大な画賛があり、款記は大永4年(1524)8月のある。
絵画	紙本墨画老子像〈牧谿筆/〉 (しほんぼくがろうしぞう) 北区天神町	平成25年 6月19日 (2013)	岡山県立 美術館	禅宗の祖師像にならい半身の老子の姿を描く。古来牧谿の東山御物として珍重。足利義満、徳川家康から紀州徳川家に伝来。
絵画	紙本淡彩山雨染衣図〈浦上玉堂筆/〉 (しほんたんさいさんうせんいず) 北区天神町	昭和35年 6月9日 (1960)	岡山県立 美術館	前景に土坡と樹木を描く。近景は雨後の景色で、遠景にはまだ山雨がけむっており、晴雨二つの景観が描写される。玉堂の代表的一作である。
彫刻	木造聖観音立像 (もくぞうしょうかんのりゅうぞう) 北区法界院	明治34年 8月2日 (1901)	法界院	藤原時代中期(11C)の作。桧一木造りで、全体に古様を伝える。像高103.7cm。当初は彩色像であった。
彫刻	木造毘沙門天立像・木造不動明王立像 (もくぞうびしゃもんてんりゅうぞう・もくぞうぶどうみょうおうりゅうぞう) 北区日応寺	昭和54年 6月6日 (1979)	日応寺	鎌倉時代前期の作。松材寄せ木造りで、頭髪・肉身・衣装の彩色と施文は製作時のままを伝える。像高159.4cm。
彫刻	木造獅子狛犬 (もくぞうししこまいぬ) 北区吉備津	平成14年 6月26日 (2002)	吉備津神社	鎌倉時代末期の作と推定。一対。各高92cm。寄せ木造り漆地彩色。両方で阿吽の形をなす。本殿内陣扉前の東西に置く。
彫刻	木造観音菩薩立像 (もくぞうかんのんぼさつりゅうぞう) 東区竹原	平成20年 7月10日 (2008)	明王寺	鎌倉時代初期の作と推定。桂の一木造り。全高84.8cm。平安時代の作風を伝え、造形・運刀が優秀で、もとは秘仏とされていた。





工芸品 (国宝)	赤韋威鎧 兜、大袖付 (あかかわおどしよろい かぶと、おおそでつき)  北区後楽園	昭和44年 6月20日 (1969)	岡山県立 博物館	大鎧は平安時代末期の特色を、兜は鎌倉時代の様式を示している。承久の乱の功により、地頭として赴任した赤木家に伝承。
工芸品	能装束 白地草花文肩裾縫箱 (のうしょうぞく しろじくさばなもんかたすそぬいはく)  北区丸の内二丁目	昭和45年 5月25日 (1970)	林原美術館	桃山時代の作。袷仕立ての肩裾。表は金箔を施して草花文様を刺繍し、水藻と流水を描繪。縫箱の手法は優れ色彩は良。
工芸品	能装束 紅白締切菊桐文段替唐織 (のうしょうぞく こうはくしめきりきくきりもんだんがわりからおり)  北区丸の内二丁目	昭和45年 5月25日 (1970)	林原美術館	桃山時代の装束。袷仕立て。表は経白と偉紅の6枚綾地で、紅地に格子縞地文、白地に菊・桐文を織り出す古様の唐織り。
工芸品	紅地菊枝桐亀甲文唐織小袖 (べにじきくえだきりきっこうもんからおりこそで)  北区丸の内二丁目	昭和52年 6月11日 (1977)	林原美術館	桃山時代の装束。表に色系の繪緯で菊枝亀甲花菱、桐紋の文様を織出した唐織りの小袖。池田輝政室の小袖を能装束に転用。
工芸品	能装束 紅地山桜円文蔓草模様縫箱 (のうしょうぞく べにじやまぎくらくらえんもんつくるくさもようぬいはく)  北区丸の内二丁目	昭和52年 6月11日 (1977)	林原美術館	江戸時代初頭の優品。紅の綾地の墨染文様に細かい草花文様を繡と繡箔を施す。池田輝政の夫人の小袖を転用したという。
工芸品	能装束 摺箱紅白段桜花文 (のうしょうぞく すりはくこうはくだんおうかもん)  北区丸の内二丁目	昭和56年 6月9日 (1981)	林原美術館	桃山時代の装束。練緯と綿入れの袷仕立て。上半は紅白染めの片身替り、下半は紅白段々の縫合わせで、江戸初期に改装。
工芸品	綾杉獅子牡丹蒔絵婚礼調度 (あやすぎししほたんまきえこんれいちょうど)  北区丸の内二丁目	平成13年 6月22日 (2001)	林原美術館	幕府の御用蒔絵師だった漆工芸集団「幸阿弥家」が制作し、将軍家から池田家に姫が嫁いだ時に持参したと伝えられる調度品。
古文書	金山寺文書 (きんざんじもんじょ)  北区後楽園	昭和44年 6月20日 (1969)	金山寺 (岡山県立 博物館)	天平勝宝元年の開基伝承の金山寺に伝わる平安から室町時代にかけての52通の文書と縁起。当地方の動向を示す史料。
書跡典籍	信長記 (しんちょうき)  北区津島中一丁目	昭和51年 6月5日 (1976)	岡山大学	織田信長の右筆の太田牛一自筆本15冊。本書は池田家の依頼により、慶長15年に太田が自ら清書本を制作したものの。

歴史資料	アジア航海図(羊皮紙著色) (あじあこうかいず(ようひしちやくしよく)) 北区丸の内二丁目	昭和59年 6月6日 (1984)	林原美術館	桃山時代の作と推定。羊皮紙の表面全体に胡粉し、東は日本、南はジャワ諸島、西はアラビア、北は中国北部まで描写。
歴史資料	閑谷学校関係資料 (しずたにがっこうかんけいしりょう) 北区後楽園	平成14年 6月26日 (2002)	岡山県立博物館	閑谷学校は寛文10年(1670)に開校した岡山藩の郷学。延宝5年(1677)に建設された文庫に収蔵された典籍など4,041点。
考古資料	特殊器台 (とくしゅきだい) 北区後楽園	平成5年 6月10日 (1993)	岡山県立博物館	総社市宮山遺跡(墳墓群)から出土。弥生後期の吉備で一般の器台から発達した祭祀用土器。円筒埴輪の素形となった。
考古資料	突線流水文銅鐸 (とっせんりゅうすいもんどうたく) 北区後楽園	平成12年 12月4日 (2000)	岡山県立博物館	高塚遺跡出土。銅鐸は高さ58.0cm。流水紋で飾られる。貨泉は中国銭で出土数は最多。棒状銅製品は銅の素材とみられる。

【国指定記念物】

種別	名称(ふりがな) 所在地	指定年月日 (西暦)	所有者 (管理者)	概要
史跡	造山古墳 (つくりやまこふん) 北区新庄下	大正10年 3月8日 (1921)	岡山市ほか	全長350m。古墳時代前期の巨大前方後円墳。全国4位の規模。前方部先に千足古墳・榊山古墳を含む6基の小墳が並ぶ。
史跡	旧岡山藩藩学 (きゅうおかやまはんはんがく) 北区蕃山町	大正11年 3月8日 (1922)	岡山市	岡山藩主池田光政が寛文9年(1669)に設けた藩士子弟の藩学。講堂、校門、正門が遺存したが戦災で焼失。泮池現存。
史跡	大多羅寄宮跡 (おおだらよせみやあと) 東区大多羅	昭和2年 4月8日 (1927)	布施神社	正徳2年(1712)に藩主池田綱政が、藩内71社の寄宮の内66社を再統合して祀ったもの。寄宮は寛文の神社淘汰策で造立。
史跡	万富東大寺瓦窯跡 (まんとみとうだいかわらがまあと) 東区瀬戸町万富	昭和2年 4月8日 (1927)	岡山市ほか	平安時代末に戦乱で焼失した東大寺の再建瓦を焼成した瓦窯。建久4年(1193)に備前国が造営料国となり築かれた。
史跡	惣爪塔跡 (そうづめとうあと) 北区惣爪	昭和3年 2月7日 (1928)	国	足守川畔の水田中に長径2m、短径1.5mの塔心礎が遺存。関連遺構は不明ながら、付近から瓦が出土。津臣関連の氏寺跡か。
史跡	真金一里塚 (まがねいちりづか) 北区吉備津	昭和3年 3月24日 (1928)	国	江戸時代の山陽道(西国街道)の一里塚。旧道を挟んで黒松を植えた北塚、榎木を植えた南塚が対をなして残る。
史跡	高松城跡 (たかまつじょうあと) 北区高松ほか	昭和4年 12月17日 (1929)	岡山市ほか	天正10年(1582)の中国役の主戦場となった城跡。羽柴秀吉の水攻めで著名。平城で郭の土樋と水攻め築堤の一部が残る。
史跡	牟佐大塚古墳 (むさおおつかこふん) 北区牟佐	昭和5年 2月28日 (1930)	国	古墳時代後期の吉備地方三大巨石墳の一つ。円墳。全長18mの横穴式石室に浪形石(貝殻石灰岩)の家形石棺を安置。
史跡	幡多廃寺塔跡 (はたはいじとうあと) 中区赤田	昭和19年 11月7日 (1944)	国	県下最大の塔心礎。発掘の結果、寺院跡は白鳳時代後半から平安時代後半まで存続。寺域は東西123m、南北128mと推定。
史跡	神宮寺山古墳 (じんぐうじやまこふん) 北区中井町一丁目	昭和34年 5月13日 (1959)	天計神社 墓地管理組合	古墳時代前期の大型前方後円墳。吉備地方では珍しく沖積地に立地。全長150m、後円部高13m。鉄器類が出土。
史跡	津島遺跡 (つしまいせき) 北区いずみ町	昭和46年 1月5日 (1971)	岡山県	岡山平野の初期農耕を示す縄文晩期から古墳時代の集落遺跡。弥生時代前期の水田が居住地と一体的に検出されている。
史跡	賞田廃寺跡 (しょうだはいじあと) 中区賞田	昭和47年 3月16日 (1972)	岡山市	備前国最古の寺院で飛鳥時代末期に創建され室町時代に廃絶。盛期の奈良時代後半には東西二塔が壇上積基壇で飾られる。



**【国指定重要無形民俗文化財】**

種別	名称(ふりがな) 所在地	指定年月日 (西暦)	保護団体 (管理者)	概要
無形民俗 文化財	西大寺の会陽 (さいだいじのえよう) 東区西大寺中三丁目	平成28年 3月2日 (2016)	西大寺会陽 奉賛会	正月に行われる修正会の結願の行事。 本堂で投下される宝木を奪い合う伝統行 事で、室町時代の護符の奪い合いが起 源。

**【国指定重要無形文化財】**

種別	名称(ふりがな) 所在地	認定年月日 (西暦)	保持者	概要
無形文化財 (総合認定)	能楽 太鼓方 金春流 (のうがく たいこかた こんばるりゅう)	平成13年 7月12日 (2001)	梶谷義男	
無形文化財 (総合認定)	能楽 シテ方 観世流 (のうがく してかた かんぜりゅう)	平成16年 9月2日 (2004)	藤井千鶴子	











工芸品	唐櫃 (からびつ)  北区後楽園	平成2年 4月3日 (1990)	岡山県立 博物館	木造漆塗の、縦51.1cm×横38.9cm×高さ37.0cmの長方形の箱で計六本の足をもち蓋がつく。側面には銘文が記されており永仁2年(1294)に作とわかる。
工芸品	木造彩色菊牡丹透華鬘 (もくぞうさいしききくぼたんすかしげまん)  北区後楽園	平成3年 4月5日 (1991)	岡山県立 博物館	南北朝時代の団扇形の華鬘。材質は椵で、縦29.8cm、横34.2cm。金銅製の覆輪、総角、釣金具、垂飾が完備する遺品。
工芸品	紫糸威腹巻 (むらさきいとどしはらまき)  北区後楽園	平成3年 4月5日 (1991)	岡山県立 博物館	室町時代中期の作と推定。胴高29.0cm、最小胴周り73.0cm。小札に革小札と鉄小札を用い、古式の形態を伝える優品。
工芸品	五鈷杵・五鈷鈴 (ごこしよ・ごこれい)  北区後楽園	平成4年 4月3日 (1992)	金山寺 (岡山県立 博物館)	鎌倉時代の作と推定。鋳銅鍍金製で、把に鬼面、鈷に獅嚙を施し、対をなす一具と見られる。杵全長19.0cm。鈴は高さ21.2cm。
工芸品	大太刀 法光 (おおだち のりみつ)  北区後楽園	平成6年 4月5日 (1994)	吉備津神社 (岡山県立 博物館)	文安3年(1446)の作。全長377.3cm、刃長226.7cm、重量13kg。鎬造、丸棟。備前長船派正系法光の作。日本最大の太刀。
工芸品	色々威腹巻 (いろいろおどしはらまき)  北区丸の内二丁目	平成29年 3月7日 (2017)	林原美術館	室町時代後期。胴高26.3cm、胴囲96.8cm、草摺高26.1cm。県内に現存する同時代の腹巻は数が限られ、保存状態が良好。
工芸品	藍葦威胸緋腹巻 (あいがわおどしむねひはらまき)  北区丸の内二丁目	平成29年 3月7日 (2017)	林原美術館	室町時代後期。胴高25.8cm、胴囲93.5cm、草摺高24.0cm。後世の補修を受けておらず室町時代の姿をよく伝えている。
工芸品	鉄黒漆阿古陀形五十八間総覆輪筋兜 (てつくろうるしあこたなりごじゅうはちけんそうふくりんすじかぶと)  北区丸の内二丁目	平成29年 3月7日 (2017)	林原美術館	室町時代後期。兜鉢前後径27.7cm、左右径21.1cm、深さ12.3cm。一部に欠損があるものの、作りは精緻で、筋兜の優品として貴重。
工芸品	刀 銘備前国長船住人横山上野大掾藤原祐定 奉寄進於当国一宮大明神者也寛文六年丙午年正月十九日 (かたな めいびぜんこくおさふねじゅうにんよこやまこうづけのだいじょうふじわらすけさだ とうこくいちのみやだ いみょうじんにおいてきしんたてまつるものなり かんぶんろくへいごねんしょうがつじゅうくにち)  北区後楽園	平成31年 3月8日 (2019)	吉備津彦神社 (岡山県立 博物館)	備前長船の上野大掾祐定の作。刃長120.3cm、反り3cm。鎬造、庵棟。祐定の最高傑作のひとつ。
工芸品	太刀 銘備中国万寿庄住左兵衛尉恒次 元徳二年十月日 (たちめいびうちゅうこくますのしょうじゅうさひょうえのじょうつねつぐ げんとくにねんじゅうがつひ)  北区後楽園	令和2年 3月13日 (2020)	岡山県立 博物館	青江派の刀工、左兵衛尉恒次の作で、仙台藩主伊達家に伝来した太刀。居住地・官職名・年紀が入る重要な作品。





















工芸品	道中風呂及び洗足桶 (とうちゅうぶろおよびあらいあしおけ) 北区駅元町	昭和47年 3月24日 (1972)	個人 (岡山シティ ミュージアム)	桃山時代の作と推定。豊臣秀吉の正室(寧々)の使用品との伝承がある。当時の上流階層の習俗を示す史料として貴重。
工芸品	在銘備前焼壺 (ざいめいびぜんやきつぼ) 北区	昭和47年 3月24日 (1973)	個人	文明12年(1480)の作。全高41.0cm、口径14.5cm。四耳付壺で上半部に良好な灰釉が掛かる。この時代の在銘品として貴重。
工芸品	太刀 銘家忠 (たち めいいえただ) 東区	昭和52年 4月8日 (1977)	個人	鎌倉時代の作と推定。刃長73.5cm。鎬造、庵棟。刃文は小丁子に小乱れ交じり、小足葉入り、砂流しかかり、しみ心。
工芸品	金山寺護摩堂鰐口 (きんざんじごまどうわにぐち) 北区金山寺	平成14年 4月10日 (2002)	金山寺	應安7年(1374)3月に播磨国小犬丸保の嵩大明神のために鑄造された青銅製の鰐口。
書跡典籍	紺紙銀堺金泥経 (こんしぎんかいきんでいきょう) 南区阿津	昭和39年 9月11日 (1964)	宝積院	安貞2年(1228)の作。右大将西園寺実氏の筆。幅27.2cm、長さ27.9cm。大無量寿経中の四十八願の写経。仏像の胎内から発見。



歴史資料	岡山藩主池田家関係資料 (おかやまはんしゅういけだけかんけいしりょう) 中区円山	平成16年 2月24日 (2004)	曹源寺	曹源寺には綱政以降歴代藩主の墓所が営まれ、木像や画像をはじめ、池田家に関する貴重な歴史資料が多く残される。
歴史資料	岡山藩主池田家歴代肖像及び厨子 (おかやまはんしゅういけだけきだいしょうぞうおよびずし) 中区円山	平成16年 2月24日 (2004)	曹源寺	曹源寺には歴代藩主の木像や明治以降の当主の肖像写真が厨子に納められ本堂に安置される。両者は一体となって貴重な資料。
歴史資料	経誼書院資料 (けいぎしょいんしりょう) 北区二日市	平成16年 2月24日 (2004)	岡山市中央図書館	経誼書院は豪商で町方惣年寄であった河本子恭(立軒)が屋敷内に開設した図書館。伝来する資料を「河本文庫」として整理保存。
歴史資料	石造大燈籠 (せきぞうおおとうろう) 北区一宮	平成16年 2月24日 (2004)	吉備津彦神社	安政6年(1859)造立。寄進者は城下や藩領を中心に25カ国1494件を数える。人々の信仰と岡山の石工技術を知るうえでも貴重。
歴史資料	常寿院前僧正宣胤碑伝(天満宮上棟札) (じょうじゅいんまえのそうじょうせんいんひで(てんまんぐうじょうとうふだ)) 南区彦崎	平成19年 8月27日 (2007)	天神社	修験者の常寿院前僧正宣胤が文明13(1481)年5月中旬に修行を終え作成。後に天満宮の上棟札に転用されたもの。
歴史資料	鉄盾 (てつたて) 北区駅元町	平成30年 3月20日 (2018)	岡山シティミュージアム	足守藩木下家に伝来した鉄盾で縦131.4cm、横108cm、厚さ8mmと縦132cm、横104cm、厚さ7mmの2面。大坂の陣で使用か。
考古資料	片岡家銅鐙 (かたおかけどうたく) 東区	昭和50年 8月8日 (1975)	個人	弥生時代中期。外縁付紐式四区袈裟襷文。綾杉文・斜格子文があり、古式の銅鐙の特徴を示すが出土地などは不明。
考古資料	黥面文身土偶 (げいめんぶんしんどぐう) 中区網浜	令和2年 2月25日 (2020)	岡山市埋蔵文化財センター	弥生時代後期の溝出土。頭部のみ残存。刺突と粘土塊で目鼻を立体表現。目の上下に線刻重弧文で入れ墨を表現。
考古資料	建物絵画付分銅形土製品 (たてものかいがつきふんどうがたどせいひん) 中区網浜	令和2年 12月22日 (2020)	岡山市埋蔵文化財センター	南方遺跡出土。弥生時代中期の祭祀遺物とされる分銅形土製品で、裏側に高床式倉庫の絵画を線刻する。分銅形土製品に建物絵画が描かれるのは本鈴のみ。
考古資料	鳥装人物絵画土器 (ちょうそうじんぶつかいがどき) 中区網浜	令和4年 12月20日 (2022)	岡山市御津郷土歴史資料館	新庄尾上遺跡出土。弥生時代中期の長頸壺胴部とみられる破片に鳥に扮した人物像が鋭利な工具を用いて描かれている。

## 【市指定記念物】

種別	名称(ふりがな) 所在地	指定年月日 (西暦)	所有者 (管理者)	概要
史跡	平賀元義由縁の地 (ひらがもとよしゆえんのち) 東区大多羅	昭和30年 11月 1日 (1955)	布施神社	幕末の国学者平賀元義の終焉関連地。元義は布施神社滞在中に不慮の死をとげる。境内に歌碑・文庫跡・墓所等が所在する。
史跡	岡山孤児院発祥の地 (おかやまこじいんはっしょうのち) 東区上阿知	昭和36年 5月 22日 (1961)	地区	社会事業家石井十次が明治20年(1887)にこの地で困窮者の子を引き取り、後の孤児救済教育の活動の発端となった。
史跡	神崎樋門(石) (かんざいひもん(いし)) 東区神崎町	昭和40年 6月30日 (1965)	地区	貞享4年(1687)と享保20年(1735)の花崗岩製樋門石。新田地帯の排水用の堀割に設置された樋門石で当時の治水状況を示す。
史跡	備前国総社 (びぜんこくそうじゃ) 中区祇園	昭和40年 7月30日 (1965)	総社宮	古代の備前国総社の後進の神社。江戸時代の本殿・釣殿・拝殿があったが随神門を残して焼失し近年再建。
史跡	加茂城二ノ丸跡 (かもじょうにのみるあと) 北区加茂	昭和47年 3月24日 (1972)	岡山市	毛利方が重視した備前・備中の境目七城のひとつで、天正10年(1582)の高松の役では秀吉方に攻められ落城。土壇が残る。
史跡	横井上お台場遺跡 (よこいかみおだいばいせき) 北区横井上	昭和47年 3月24日 (1972)	岡山市	古墳時代前期の円墳で横井盆地最大の規模。径40m、高さ3m。幕末には岡山藩が墳丘を利用して台場を構築した。
史跡	宮山西塚古墳 (みややまにしづかこふん) 東区百枝月	平成2年 4月 1日 (1990)	個人	古墳時代後期の円墳で径25m。全長13.5mの大型の横穴式石室を持ち、石室内には蓋を欠いた凝灰岩製の家形石棺が残る。
史跡	足守藩主木下家屋形構跡 (あしもりはんしゅきのしたけやかたがまえあと) 北区足守	平成14年 4月10日 (2002)	岡山市	足守藩木下家の陣屋で、石橋の残る堀割と近水園が良好に遺存しており、大名の屋形構を伝える貴重な遺跡である。
史跡	足守藩主木下家墓所 (あしもりはんしゅきのしたけぼしよ) 北区足守	平成14年 4月10日 (2002)	大光寺	大光寺の裏山にあり、歴代藩主のほか子女及び利玄の父利永など一族の墓塔が総計30基あり、2基の石造燈籠もある。
史跡	常山城跡 (つねやまじょうあと) 南区迫川	平成22年 7月27日 (2010)	岡山市	備前国屈指の大規模山城で、曲輪の段築構造や石垣などの遺構も良く残る。近世城郭への変遷も窺える。
史跡	金川城跡 (かながわじょうあと) 北区御津金川ほか	平成22年 7月27日 (2010)	国	備前最大級の山城で、曲輪の段構造や土塁、石垣、井戸などの遺構も良く残り、戦国期から近世期への変遷を窺う事もできる。



天然記念物	入野のアベマキ (いりののあべまき) 北区建部町三明寺	平成22年 7月27日 (2010)	個人	樹高18m、幹周2.8m、樹齢不詳の古木で、樹勢は衰えておらず、路傍の名木として重要である。
天然記念物	大蔵の大榎 (おおくらのおおえのき) 北区建部町和田南	平成22年 7月27日 (2010)	個人	樹高13m、目通り幹周5.3m、樹勢も旺盛で、御神体として信仰されてきた風格のある老樹で、郷土の名木として重要である。
天然記念物	佐狩の大棕 (さかりのおおむく) 北区建部町鶴田	平成22年 7月27日 (2010)	個人	樹高23m、幹周5.5m、推定樹齢500年で、老樹の風格があり、路傍の名木として重要である。
天然記念物	延長庵の大イチョウ (えんちょうあんのおおいちょう) 南区宗津	平成22年 7月27日 (2010)	延長庵	樹高31m、幹周3.7m、推定樹齢250～300年で、上部はバランス良く分枝し、樹勢も旺盛で、地元のシンボルとなっている。
天然記念物	吉備津彦神社のアラカシ (きびつひこじんじゃのあらかし) 北区一宮	平成30年 12月25日 (2018)	吉備津彦神社	樹高15m、幹周3.3m、推定樹齢250年の老木。境内にはアラカシの大木が数本あり、社叢林形成の主たる樹種の観を呈す。

【市指定重要有形民俗文化財】

種別	名称(ふりがな) 所在地	指定年月日 (西暦)	所有者 (管理者)	概要
有形民俗文化財	郡のだんじり (こおりのだんじり) 南区郡	昭和40年 7月30日 (1965)	郡だんじり管理 委員会	江戸時代中期・同末期・明治初年の3台。皆ほぼ同型で、車台に面取り方柱を立て唐破風造り屋根を組む。装飾は洗練品。
有形民俗文化財	つちえの井戸 (つちえのいど) 南区妹尾	昭和47年 3月24日 (1972)	岡山市	児島湾の初期干拓の妹尾地区は、井戸水が飲料用に適さず、山麓部のこの井戸が庶民の唯一の飲料用水源となっていた。
有形民俗文化財	戸川陣屋井戸 (とがわじんやいど) 南区妹尾	昭和47年 3月24日 (1972)	岡山市	妹尾地区を知行した旗本戸川氏の陣屋の井戸。明治維新後もこの井戸は飲料水に欠く当地の良水の供給源とされてきた。
有形民俗文化財	伝日像筆蓮昌寺七字の妙号 (でんにちぞうひつれんしょうじななじのみょうごう) 北区田町一丁目	昭和48年 12月20日 (1973)	蓮昌寺	南北朝時代の作と推定。縦7m、横4mの巨大な題目で、蓮昌寺の大曼陀羅として有名。開帳は城下町の年中行事であった。
有形民俗文化財	干拓地沖新田(政田)民俗資料 (かんたくちおきしんでん(まさだ)みんぞくしりょう) 東区政津	平成14年 4月10日 (2002)	政田民俗資料館	干拓地・沖新田の政田地区を中心に収集された、農具類を中心にした生産用具及び生活用具で、児島湾干拓の歴史、人々の生活を物語る貴重な民俗資料。
有形民俗文化財	天神社三方 (てんじんじゃさんぼう) 南区彦崎	平成19年 8月27日 (2007)	天神社	寛永19年(1642)、明和6年(1769)の墨書がある。現代の三方とは製法や形式も異なり、祭具の変遷を知る上でも貴重。
有形民俗文化財	絵馬「高瀬舟図」 (えま「たかせぶねず」) 北区後楽園	平成19年 8月27日 (2007)	素戔鳴神社 (岡山県立博物館)	寛政9年(1797)に金川村の船主とみられる多次郎が疫病退散、病氣平癒、商売繁盛などを祈って奉納。縦28.0cm、横71.4cm。
有形民俗文化財	多自枯鴨神社神輿 (たじこかもじんじゃみこし) 北区建部町田地子	平成24年 9月25日 (2012)	多自枯鴨神社	文化10年(1813)の作。組物などは精巧かつ重厚で全体の姿が美しい。墨書から大工名、年代が明確。市場大工の作。

【市指定重要無形民俗文化財】

種別	名称(ふりがな) 所在地	指定年月日 (西暦)	保護団体 (管理者)	概要
無形民俗文化財	備前岡山獅子舞太鼓唄 (びぜんおかやまししまいたいこうた) 北区出石町	昭和39年 2月 3日 (1964)	備前岡山獅子舞太鼓唄保存会	江戸時代前期の祭礼用獅子舞と、同後期の江戸のコチャエ節の変化した太鼓唄とからなる。統制下の城下町の庶民芸能。
無形民俗文化財	津島八朔おどり (つしまはっさくおどり) 北区津島西坂	昭和46年 10月22日 (1971)	津島八朔おどり保存会	盆踊り禁止の岡山藩内で、旧暦8月1日に豊作祈願の行事としてこの地区内で催されていた盆踊り。古い形を伝えている。
無形民俗文化財	吉備津彦神社流鏝馬神事 (きびつひこじんじやぶさめしんじ) 北区一宮	昭和47年 3月24日 (1972)	吉備津彦神社	元禄9(1696)年の再興時から行われている秋の大祭の神事。古式装束の騎手2名が2本の矢で二つの的を射るもの。
無形民俗文化財	岡山下出石お綱祭り (おかやましもいずしおつなまつり) 北区出石町	平成16年 2月24日 (2004)	岡山下出石お綱祭り保存会	綱で作った竜を担ぎ上げ、太鼓・鉦・掛け声などに合わせて町内を練り歩き岡山神社に奉納。無病息災・家業繁栄など祈願。
無形民俗文化財	シャギリ船行事 (しゃぎりぶねぎょうじ) 東区水門町	平成26年 8月22日 (2014)	水門亀岩シャギリ保存会	亀石神社満潮祭に提灯で満船飾りにした屋形船で独特の囃子を奏でながら水門湾内を巡航。旧暦6月15日の夜に実施される。

【市選定保存技術】

種別	名称(ふりがな) 事務所の所在地	選定年月日 (西暦)	保存団体	概要
選定保存技術	撫川うちわ製作技術 (なつかわうちわせいさくぎじゅつ) 北区撫川	昭和60年 4月 9日 (1985)	撫川うちわ保存会三杉堂	庭瀬藩下級武士の内職として始まり、となりの撫川知行所へも広まり、後者が中心地となって、備中の名産品とされるに至った。

#### 4 登録文化財ほか

##### 【国登録有形文化財】

種別	名称(ふりがな) 所在地	登録年月日 (西暦)	所有者 (管理者)	概要
建造物	岡山禁酒会館 (おかやまきんしゅかいかん)  北区丸ノ内一丁目	平成14年 6月25日 (2002)	財団法人 禁酒会館	大正12年(1923)の建築。木造3階建、スレート葺。ドイツ壁風と白タイル張を組み合わせさせた垂直性を強調した正面意匠。
建造物	大賀家住宅主屋 (おおがけじゅうたくしゅおく)  北区今保	平成14年 6月25日 (2002)	個人	江戸後期の建築。木造2階建、瓦葺。江戸時代の商家の住宅。江戸後期から明治中期に新築、移築された建物で構成。
建造物	大賀家住宅離座敷 (おおがけじゅうたくはなれざしき)  北区今保	平成14年 6月25日 (2002)	個人	明治初期の建築。木造平屋建、瓦葺。8畳間の座敷は、数寄屋風の意匠で、床・棚・書院のつくりも丁寧で質が高い。
建造物	大賀家住宅二階座敷 (おおがけじゅうたくなかいざしき)  北区今保	平成14年 6月25日 (2002)	個人	江戸後期の建築。木造2階建、瓦葺で明治中期の移築。縁板の桜材や天井の面皮杉の棹縁など用材に凝った丁寧なつくり。
建造物	大賀家住宅納屋 (おおがけじゅうたくなや)  北区今保	平成14年 6月25日 (2002)	個人	江戸後期の建築。木造平屋建、瓦葺。主屋後方にあつて、屋敷構えを一体感のあるものとしている。
建造物	大賀家住宅雑具物置及び臼場 (おおがけじゅうたくなぎものおきおよびうすば)  北区今保	平成14年 6月25日 (2002)	個人	木造平屋建、瓦葺。江戸後期の建築。平面波L字型で、小規模な附属施設であるが、外観は重厚。
建造物	大賀家住宅内蔵 (おおがけじゅうたくうちぐら)  北区今保	平成14年 6月25日 (2002)	個人	明治中期の建築。土蔵造平屋建、瓦葺。小窓には鉄格子がはまり、厚い片開き漆喰戸など厳重なつくり。
建造物	大賀家住宅土蔵 (おおがけじゅうたくなどぞう)  北区今保	平成14年 6月25日 (2002)	個人	江戸後期の建築。桁行四間、梁間三間、2階建の土蔵造で、屋根は本瓦葺、東面に蔵前の庇をつける。
建造物	大賀家住宅漬物納屋及び荷揚げ納屋 (おおがけじゅうたくつけものなやおよびにあげなや)  北区今保	平成14年 6月25日 (2002)	個人	江戸後期の建築。木造平屋建、瓦葺。水路側を門と壁、屋敷内側を吹放しとする。大量の物資を扱った商家に欠かせない施設。
建造物	大賀家住宅表門 (おおがけじゅうたくなおももん)  北区今保	平成14年 6月25日 (2002)	個人	江戸後期の建築。入母屋造・本瓦葺、桁行2間、梁間1間半の規模で、出桁造を用いた深い軒など、屋敷の正面にふさわしい形態。
建造物	三野浄水場第一水源取水口 (みのじょうすいじょうだいいちすいげんしゅすいこう)  北区三野	平成17年 2月9日 (2005)	岡山市	明治38年(1905)建築、大正15年(1926)増改築。コンクリート及び鉄筋コンクリート造。サイフォン式取水方式から自然流下式に改築。









種別	名称(ふりがな) 所在地	指定年月日 (西暦)	所有者 (管理者)	概要
建造物	妙教寺六社天王社夜守天王社 (みょうきょうじろくしゃてんのうしゃ よもりてんのうしゃ) 北区高松稲荷	平成21年 1月8日 (2009)	妙教寺	一間社流造檜皮葺。正面のみ二軒繫垂木で、妻は虹梁又首組。縁を二手先の挿肘木、浜縁を持送りで支持する。
建造物	妙教寺六社天王社大元鬼天王社 (みょうきょうじろくしゃてんのうしゃ だいげんきてんのうしゃ) 北区高松稲荷	平成21年 1月8日 (2009)	妙教寺	一間社流造檜皮葺。妻を梁上に束立とし、正背面とも一軒繫垂木、浜縁を挿肘木で支持し、繫虹梁がなく手挟とする。
建造物	妙教寺六社天王社白糸天王社 (みょうきょうじろくしゃてんのうしゃ しらいとてんのうしゃ) 北区高松稲荷	平成21年 1月8日 (2009)	妙教寺	一間社流造檜皮葺。妻は虹梁又首組。一富天王社や夜守天王社と細部の特徴も含めて同じ規模・形式になる。
建造物	妙教寺六社天王社福恵天王社 (みょうきょうじろくしゃてんのうしゃ ふくよしてんのうしゃ) 北区高松稲荷	平成21年 1月8日 (2009)	妙教寺	一間社流造檜皮葺。妻は虹梁上に束立で、正面のみ二軒繫垂木とし、繫虹梁を略し、手挟とする。手挟や虹梁には若葉風絵様を用いる。
建造物	妙教寺六社天王社福崎天王社 (みょうきょうじろくしゃてんのうしゃ ふくさきてんのうしゃ) 北区高松稲荷	平成21年 1月8日 (2009)	妙教寺	六社天王社のうち最も南に建つ一間社流造檜皮葺。向拝に手挟を用いるなど、大元鬼天王社に近い仕様。
建造物	妙教寺鐘楼 (みょうきょうじしょうろう) 北区高松稲荷	平成21年 1月8日 (2009)	妙教寺	文久2年(1862)の建築。四方吹放ちの鐘楼で入母屋造本瓦葺。江戸期の妙教寺の姿を伝える数少ない遺構。
建造物	妙教寺清正公堂 (みょうきょうじせいしょうこうどう) 北区高松稲荷	平成21年 1月8日 (2009)	妙教寺	加藤清正を法華経の守護神としてまつ。一間社で入母屋造銅板葺。龍彫刻の尾垂木付三手先詰組、腰組を四手先とするなど賑やか。
建造物	妙教寺仁王門 (みょうきょうじにおうもん) 北区高松稲荷	平成21年 1月8日 (2009)	妙教寺	昭和32年(1957)の建立の花崗岩切石貼のRC造。インドの仏塔風の建築。仏教考古学者・石田茂作のアイデアで、岸田日出人の設計。伝統的な社頭景観において異彩を放つ。
建造物	岡山県立岡山朝日高校(旧第六高等学校)柔道場 (おかやまけんりつおかやまあさひこう こう(きゅうだいろくこうとうがっこう) じゅうどうじょう) 中区古京町	平成23年 1月26日 (2011)	岡山朝日 高等学校	大正8年(1919)の建築。切妻造妻入鉄板葺。小屋は洋小屋とし、床組にバネを装置して弾力をもたせる。大正期の柔道場の好例。
建造物	岡山県立岡山朝日高校(旧第六高等学校)東書庫 (おかやまけんりつおかやまあさひこう こう(きゅうだいろくこうとうがっこう) ひがししょこ) 中区古京町	平成23年 1月26日 (2011)	岡山朝日 高等学校	明治35年(1902)の建築。煉瓦造三階建、切妻造棧瓦葺。外壁はモルタル塗で、窓に鉄格子をはめる。堅牢なつくりの書庫。



種別	名称(ふりがな) 所在地	指定年月日 (西暦)	所有者 (管理者)	概要
建造物	林原美術館東蔵 (はやしばらびじゅつかんひがしぐら) 北区丸の内二丁目	令和5年 8月7日 (2023)	(株)林原	明治前期に建設。土蔵造二階建て切妻造本瓦葺、外部は漆喰塗。
建造物	林原美術館中蔵 (はやしばらびじゅつかんなかぐら) 北区丸の内二丁目	令和5年 8月7日 (2023)	(株)林原	明治前期に建設。土蔵造二階建て切妻造本瓦葺、外部は漆喰塗。
建造物	林原美術館西蔵 (はやしばらびじゅつかんにしぐら) 北区丸の内二丁目	令和5年 8月7日 (2023)	(株)林原	明治14年に建設。土蔵造二階建て切妻造本瓦葺、外部は漆喰塗。
建造物	林原美術館長屋門 (はやしばらびじゅつかんながやもん) 北区丸の内二丁目	令和5年 8月7日 (2023)	(株)林原	江戸末期の建設。旧生坂藩向邸から移築されたもので、藩邸の屋敷構えを伝える。

【記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財】

種別	名称(ふりがな) 所在地	選択年月日 (西暦)	保護団体	概要
無形民俗 文化財	備中神楽 (びっちゅうかぐら)	昭和45年 6月8日 (1970)		備中地方で行われる荒神信仰による採物神楽の一種。
無形民俗 文化財	吉備津彦神社の御田植祭 (きびつひこじんじやのおたうえまつり) 北区一宮	昭和54年 12月7日 (1979)	吉備津彦神社 御田植祭 保存会	毎年8月2・3日に行われる五穀豊穰を祈る行事。御斗代神事と御福神事があり、中世から行われていたことが絵巻にある
無形民俗 文化財	岡山県の会陽の習俗 (おかやまけんのえようのしゅうぞく) 東区西大寺中三丁目ほか	平成15年 2月20日 (2003)		岡山県南部のいくつかの寺社で行われる、会陽または裸祭りと呼ばれる行事。年始に行われる修正会が民俗行事化したもの。

## 岡山市指定文化財一覽

(令和6年3月31日現在)

分類・種別		国	県	市	合計		
指定	国宝・重要文化財	美術工芸品	絵画	8	5	7	20
		彫刻	4	8	10	22	
		工芸品	31 (4)	34	9	74	
		書跡・典籍	1	5	4	10	
		古文書	1	4	7	12	
		考古資料	2	5	4	11	
		歴史資料	2	2	7	11	
		建造物	建造物	8 (1)	16	26	50
			石造美術	3	6	10	19
	記念物	史跡	18	15	15	48	
		名勝	1 (1)	1	0	2	
		天然記念物	3 (2)	2	14	19	
	無形文化財	芸能	2	0	0	2	
		工芸技術	0	0	0	0	
	民俗文化財	有形民俗	0	2	8	10	
		無形民俗	1	4	5	10	
	合計		85	109	126	320	
	選定	文化的景観		0	—	—	0
		伝統的建造物保存地区		0	—	—	0
選定保存技術		0	0	1	1		
登録	登録有形文化財（建造物）		79	—	—	79	
	登録有形文化財（美術工芸品）		0	—	—	0	
	登録有形民俗文化財		0	—	—	0	
	登録記念物		0	—	—	0	
記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財		3	—	—	3		
重要美術品		9	—	—	9		

※()は国宝、特別名勝、特別天然記念物の数で内数。

※国指定無形文化財は団体認定の構成員数

※国指定天然記念物はタンチョウ、アユモドキ、オオサンショウウオで、いずれも「地域を定めず」（個体指定）